

Windows Live メールの設定変更手順

メールサーバ更新後のメール通信の暗号化及びメール送信時の認証などの設定変更は次の手順で行ってください。（ここでは、**プロトコル：IMAPS(993)**、**アカウント名：demo1** で説明していますので、それぞれ自分の環境に合わせて設定してください。）

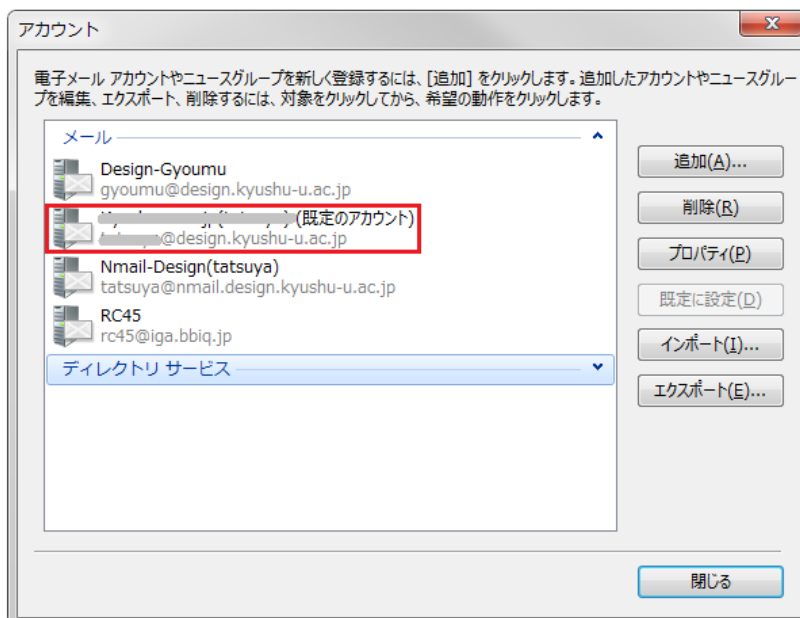
*受信のポート番号を「110」（POP3）に設定していた場合は「995」（POP3S）に、「143」（IMAP）に設定していた場合は「993」（IMAPS）に設定変更してください。

1. Windows Live メール の起動画面

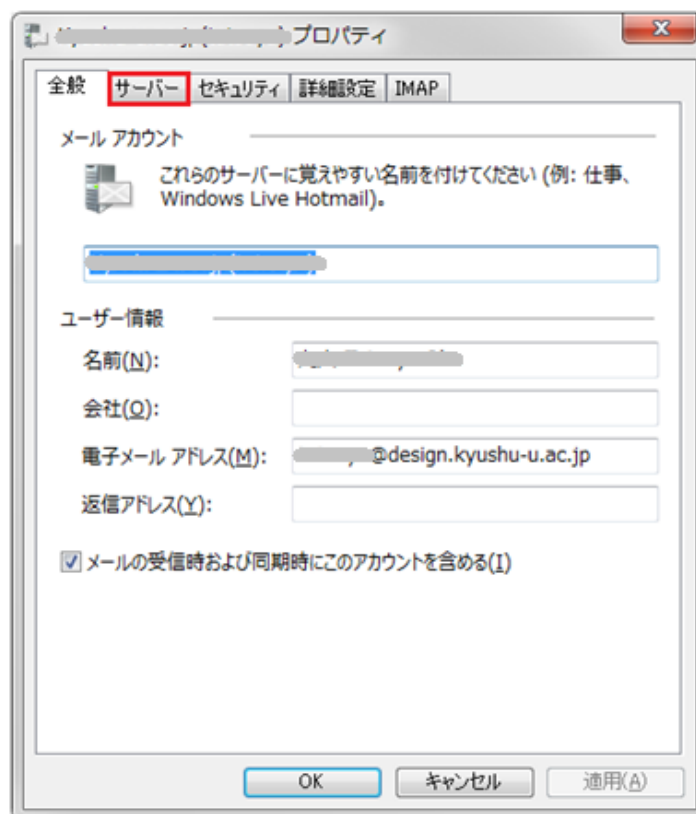
Windows Live メールを起動し、「オプション」→「電子メールアカウント」の順にクリックしてください



アカウント画面が表示されるので「……(既定のアカウント)」をダブルクリックしてください。

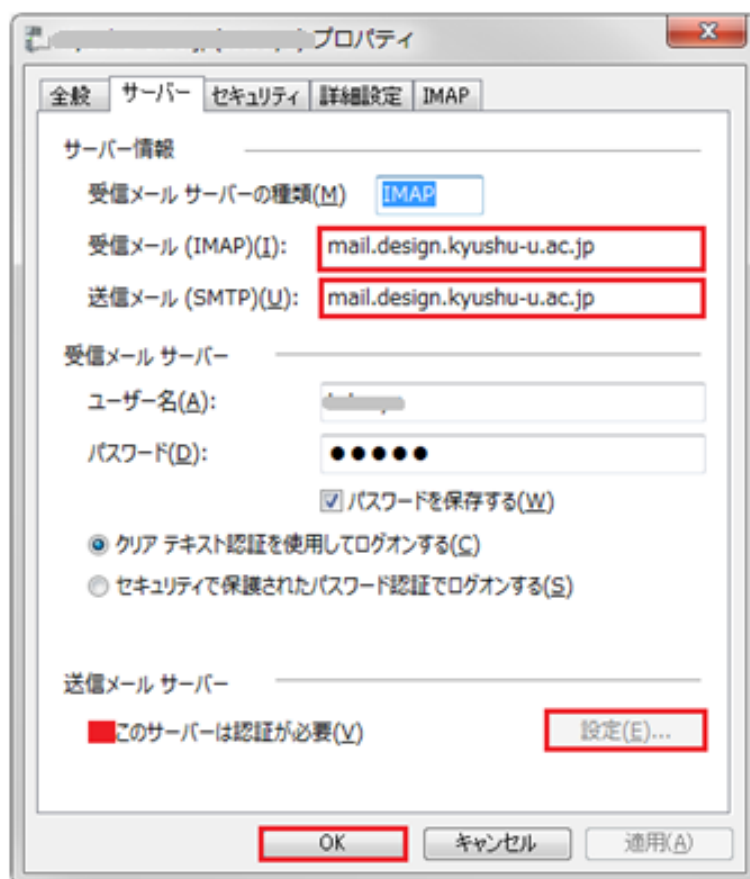


次のプロパティ画面が表示されるので「サーバー」タブをダブルクリックしてください。



2. 「サーバー」の設定画面

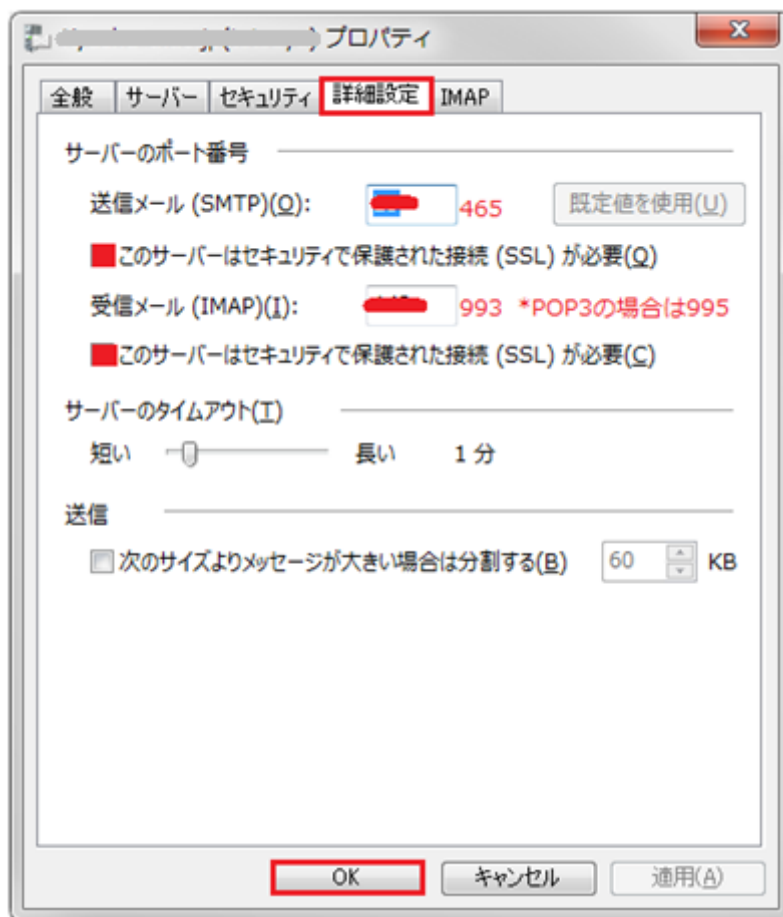
送受信サーバの設定画面が表示されるので、以下の設定変更を行ってください。



- (1) 「受信メール(IMAP)」と「送信メール (SMTP)」が「mail.design.kyushu-u. ac. jp」に設定されていることを確認してください。
- (2) 「送信メールサーバー」の「このサーバは認証が必要」にチェックされていることを確認し、「設定」をクリックしてください。
- (3) 「送信メールサーバー」画面が表示されるので、「ログイン情報」の「受信メールサーバと同じ設定を使用する」を選択して「OK」をクリックしてください。

3. 「詳細設定」の設定画面

次に「詳細設定」タブをダブルクリックして以下の設定変更を行ってください。



- (1) 「送信メール(SMTP)」に 465 を入力し、「このサーバーはセキュリティで保護された接続(SSL)が必要」にチェックしてください。
- (2) 「受信メール(IMAP)」に 993 (POP3 の場合は 995) を入力し、「このサーバーはセキュリティで保護された接続(SSL)が必要」にチェックし、「OK」をクリックしてください。

以上で設定変更は終了です。

「Windows Live メール」を再起動し、動作確認をお願いします。